

# 第64期 株主通信

2022年4月1日～2022年9月30日



関西フードマーケット

証券コード：9919

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼を申し上げます。

2023年3月期第2四半期の連結業績は、売上高184,941百万円、営業利益1,839百万円、経常利益1,514百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は787百万円となりました。前年の新型コロナウイルス感染症の影響下における内食・巣ごもり需要の反動減に加え、原材料価格や商品価格の高騰、また、光熱費や物流費、採用環境の変化による人件費の上昇等の環境変化に対して、イズミヤ・阪急オアシスではスーパーマーケットのオペレーションの統一、関西スーパーではその徹底をより進め、来店頻度を高めるための価格対応や益率対応、惣菜強化、経費削減などの施策を実施してまいりました。

しかしながら上記のとおり、当第2四半期は厳しい結果となり、通期の連結業績予想を売上高375,000百万円、営業利益6,500百万円、経常利益5,900百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は2,300百万円に見直すことといたしました。

今後も当社を取り巻く環境はさらに厳しくなることが予想されますが、引き続きオペレーションの徹底、独自性の強い商品展開などの取り組みを通して、お客様にお選びいただけるスーパーマーケットの実現に向け、全社一丸となって取り組んでまいります。

## ～さらなる事業基盤の強化に向けて～

2022年11月1日に公表しましたとおり、イズミヤ(株)と(株)阪急オアシスを合併し、2023年4月1日から「イズミヤ・阪急オアシス株式会社」として新たなスタートを切ることになりました。

両社は、従前から、お客様起点で店舗フォーマットを見直し、オペレーションの再構築を実現するため、事業構造改革に取り組んでおります。2021年には、食品スーパーの戦略機能と事務所を集約し、2022年4月には、本社機能、商品・販促等の本部機能の一元化、そして同年10月からは店舗運営機能の一元化を進めてまいりましたが、さらなる事業基盤の強化を図るため、この度、両社を合併することといたしました。2023年には、システム統合も予定しており、現在、途上である商品・業務フロー等のより一層の効率化を進め、積極的に人的投資をするとともに生産性を向上させ、成長への礎を固めてまいります。

これからもお客様にお応えできる「人」づくり、魅力ある「店」づくりに邁進してまいりますので、株主の皆様におかれましては、より一層のご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



代表取締役社長

林 克弘

## 各事業の概況

	総額売上高	営業利益
イズミヤ	726億円（前年同期比 97.4%）	4億円（前年同期比 29.1%）
阪急オアシス	556億円（前年同期比 93.1%）	4億円（前年同期比 37.8%）
関西スーパー事業	639億円（前年同期比 96.6%）	11億円（前年同期比 86.4%）

各社ともに、前年のコロナ禍における内食需要増大の反動や物価上昇に伴う心理的影響等により、売上が伸び悩みました。

イズミヤ(株)と(株)阪急オアシスでは、チラシ紙面や販促施策の統一、店舗フォーマットに応じた商品MDの展開等に取り組みました。また、業務標準化・省力化による生産性向上に取り組み、販売費及び一般管理費は前年実績・計画ともに下回りましたが、既存店売上高がイズミヤ(株)で94.9%、(株)阪急オアシスで91.0%となり、減収減益となりました。

(株)関西スーパーマーケットでは、3店舗をモデル店舗である「中央店型モデル」へ改装しました。また、消耗品費等の見直しにより、販売費及び一般管理費は前年実績・計画ともに下回りましたが、既存店売上高は96.5%となり、減収減益となりました。

※イズミヤ(株)、(株)阪急オアシスの経営成績は当社グループの前第2四半期の連結経営成績には含まれておりませんが、経営成績の説明に有用であることから、各社の前年同期との比較に基づき、経営成績を記載しております。

## 連結決算概要

	第2四半期累計期間	通期予想
売上高	1,849億円（前年同期比 ー%）	3,750億円（前年同期比 131.9%）
営業利益	18億円（前年同期比 ー%）	65億円（前年同期比 112.0%）
経常利益	15億円（前年同期比 ー%）	59億円（前年同期比 119.4%）
親会社株主に帰属する 当期(四半期)純利益	8億円（前年同期比 ー%）	23億円（前年同期比 27.5%）

※当第2四半期累計期間の連結経営成績は、当社、イズミヤ(株)、(株)阪急オアシス、(株)関西スーパーマーケット、(株)KSPの5社の経営成績からなる連結数値を記載しております。前第2四半期累計期間の連結経営成績は、当社と(株)KSPの2社からなる連結数値であり、当第2四半期累計期間との間で連結範囲が大きく異なることから、対前年同期比は記載しておりません。

## サステナビリティの取り組み

持続可能な社会の実現に向け、当社グループの各食品スーパーでは様々な取り組みを実施しております。今回は、その中から食品廃棄物とプラスチックの削減に関する取り組みについてご紹介します。

### 「地域とともに実現する食品廃棄ゼロエリアプロジェクト」へ参画

イズミヤ多田店（兵庫県川西市）では、アップサイクル商品の開発や、食品廃棄物を利用して作った堆肥を使用した農産物の販売を通じて、“食品廃棄ゼロループ”の構築に向けた実証実験を進めています。地域の皆様に食品廃棄物の問題へ関心を持っていただくため、今後も、川西市で展開する各店舗で同様の取り組みや情報発信を進めていくべく検討を進めてまいります。



食品廃棄物を堆肥化する様子

このプロジェクトは、H2Oリテイリンググループ各社、兵庫県川西市、大学、NPO法人など、産官学の連携によるプロジェクトで、環境省における食品廃棄ゼロエリア創出モデル事業にも採択されています。

### プラスチック製カトラリーを紙製・木製へ

関西スーパーでは、プラスチック削減の取り組みとして、お客様にお渡ししているスプーンやフォーク、ストローなど6品目を、プラスチック製から紙製・木製へ全店で切り替えました。



## 1 関西スーパー

## 1 関西スーパー永和店がリニューアルオープン

2022年7月18日に「関西スーパー永和店」（大阪府東大阪市）をリニューアルオープンしました。

リニューアルによって、季節のお花を取り揃える「フラワーガーデン」、厳選したトマトを豊富に取り揃える「TOMATOMA FARM」、徳島県より新鮮な野菜や果物をお届けする「すきとく市」、楽しく自分流にアレンジができるサラダをご提案する「サラダステーション」、希少糖を使用した惣菜など毎日の健康な食卓をお手伝いする「デリカステーション」など、日々のお買物をゆっくりと楽しんでいただける、より魅力のあるお店に生まれ変わりました。「いつも暮らしの近くにいます！みんなの『笑顔』と『おいしさ』に出会えるお店」をコンセプトに、食卓に豊かさを、お買物に楽しさをプラスします。また、永和店では、従業員の働きやすい職場づくりのため、バックヤード配置を再構築し、在庫置場の見直しを図るなど、生産性の向上に寄与する取り組みを行っています。



リニューアルされた店内



サラダステーション

## 2 イズミヤ

## 2 イズミヤ千里丘店がリニューアルオープン

2022年9月16日に「イズミヤ千里丘店」（大阪府吹田市）をリニューアルオープンしました。

リニューアルによって、地場生産者の商品を拡大した近郊野菜コーナー「おひさん市」、こだわり商品や全国のご当地商品を集めた「千里丘マルシェ」・「諸国うまいもん」、超高温焼成でもちっとした食感が人気の「石窯ピザ」や、「阪急百貨店おすすめデパ地下スイーツギフトコーナー」等の新たな売場を多数導入しました。

また、車でのアクセスがしやすい立地特性を活かし、広域からの集客をさらに高めるため、黒毛和牛や鶏肉、デリカなど百貨店で人気の5つの専門店を新たに導入するとともに、目で見ても楽しめる「まぐろの解体ショー」の実施や、市場・産地から直送された新鮮な旬の魚が並ぶ「鮮魚市」の開催、阪急百貨店で人気の商品を集めた「ベーカリーイベント」や「デパ地下スイーツワゴン」など週末限定や週替わりの取り組みも多数展開しています。



こだわりの商品を集めた「千里丘マルシェ」百貨店で人気の専門店も導入



食品スーパーだけでなく、ショッピングセンターのテナントゾーンのリニューアルもほぼ完了し、地域のお客様のニーズに合わせてグループのメリットを最大限活用した店づくりに挑戦しています。

## 3 阪急オアシス

## 3 阪急オアシス池田店がリニューアルオープン

2022年10月14日に「阪急オアシス池田店」（大阪府池田市）をリニューアルオープンしました。

リニューアルによって、地元の池田市・川西市の野菜を取り扱う「おひさん市」や、京都の名産品として全国に数多くのファンを持つ老舗名店の京豆腐「とようけ屋」、京漬物「打田漬物」コーナーを新たに導入しました。

鮮魚・肉の対面売場の品揃えを増やすとともに、それぞれの素材を使用した商品がならぶ惣菜・弁当コーナーを導入しました。魚屋の鮭コーナーでは、初の試みとして、毎週末に時間限定でお寿司を1貫より購入できるバイキングコーナーも設置しました。また、地元で人気のベーカリー専門店「ルフラン」も増床リニューアルを実施し、ゆったりとくつろげるカフェコーナーを新設しました。

売場レイアウトも、食品売場の通路幅を拡大し、お客様がより快適に買いまわりいただける環境を整えることで、地域のお客様のニーズに対応していきます。



素材を活かした惣菜を強化



魚屋の鮭・バイキングコーナー

## 新・株主優待制度がスタート

当社株式への投資魅力をさらに高め、実際に当社グループの店舗をご利用いただくことにより、当社グループに対するご理解を一層深めていただくことを目的として、優待内容を一部変更し、基準日を年2回に拡大しました。

基準日		年2回（3月末日、9月末日）
優待内容	100株以上	半期ごとに、株主ご優待券（500円券）2枚 または 米2kg 1袋
	1,000株以上	半期ごとに、株主ご優待券（500円券）6枚 または 米5kg 1袋
	5,000株以上	半期ごとに、株主ご優待券（500円券）10枚 または 米5kg 2袋
送付時期		6月上旬、12月上旬



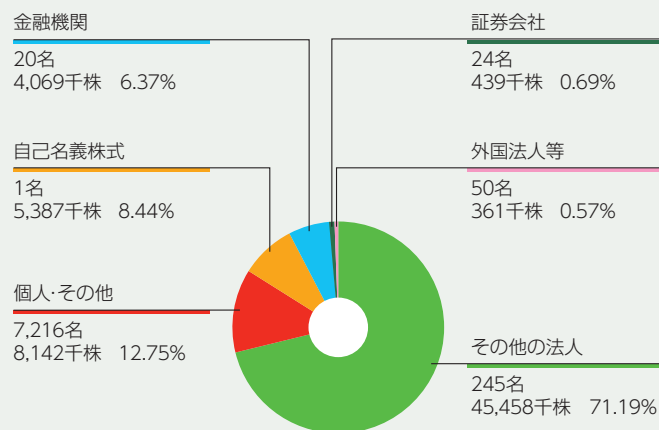
### 株主優待制度に関するお問い合わせ先

代表電話番号 072-744-5701 平日9：00～17：00（土日祝・年末年始を除く）

ホームページ <https://www.kansai-foodmarket.co.jp/ir/benefit.html>

## 株式の状況（2022年9月30日現在）

発行済株式の総数	63,858,804 株
株主数	7,556 名
所有者別株主分布状況	



## 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当金 毎年3月31日 中間配当金 毎年9月30日 そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
単元株式数	100株
株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関	三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人事務取扱場所	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

## 大株主の状況（上位11名）

株主名	持株数	出資比率
エイチ・ツー・オー リテイリング株式会社	37,034 (千株)	63.34 (%)
関西スーパーマーケット取引先持株会	2,678	4.58
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,759	3.01
伊藤忠食品株式会社	1,429	2.44
国分グループ本社株式会社	1,021	1.75
加藤産業株式会社	700	1.20
関西スーパーマーケット従業員持株会	544	0.93
株式会社かね清	400	0.68
野村證券株式会社	355	0.61
株式会社三菱UFJ銀行	339	0.58
株式会社みずほ銀行	339	0.58

(注)1. 当社は、自己株式を5,387,458株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。  
2. 出資比率は自己株式を控除して計算しております。

郵便物の送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話照会先	☎0120-782-031 受付時間 9：00～17：00(土日祝を除く)
インターネットホームページURL	<a href="https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/">https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/</a>
公告方法	電子公告とし、当社ホームページに掲載いたします。 ( <a href="https://www.kansai-foodmarket.co.jp/">https://www.kansai-foodmarket.co.jp/</a> ) ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
上場証券取引所	東京証券取引所 スタンダード

## 株式会社 関西フードマーケット

〒664-0851 兵庫県伊丹市中央5丁目3番38号 <https://www.kansai-foodmarket.co.jp/>